

◆令和6年10月21日開催庁議◆

1. 市長挨拶

- 3定が無事終了し、案件、決算は全て承認され、ご尽力いただいた皆さんに感謝申し上げます。また、4定が始まり、予算編成も佳境に入るので、それぞれの部署の政策予算、予算の精査をお願いしたい。
- 最近の新聞記事で興味深い内容があったので紹介する。日本発の自己啓発書が世界中で大ヒットしているとの記事で、古くは福沢諭吉の「学問のすすめ」が海外で人気を博しており、松下幸之助の「道をひらく」が中国で特に売れ、最近ではアドラー心理学を研究した岸見一郎の「嫌われる勇気」が1,000万部売れている。心理学の解説のため自己啓発とも違うが、このような日本の自己啓発書が世界中で読まれていることは、日本的な自己を鍛えなければならないといった考えが最先端を行っているのではないか、日本のこうした考えが世界中に広まっているのではないかと感じたところである。
- 10月半ばが過ぎて盤尻は多くの人で、昨日は天気もよく車が停車できないほどであった。今後、年末にかけて業務工程のヒアリングもあるのでしっかり対応していただきたい。

2. 議事

(1) 11月1日付人事異動内示について【総務部】

◎資料に基づき、総務部長説明

- 今回の異動はスタッフ職及び新規採用職員の異動であり、組織・機構に大きな影響は発生しないが、異動が発生した部署においては、システム等の設定など遺漏の無いように対応をお願いしたい。内示については庁議終了後、11時に職員ポータルへ掲載する。

(2) 令和7年度向け人事異動について【総務部】

◎資料に基づき、総務部長説明

- 自己申告書は、課長職以下の職員全員が作成し、11月7日までに所属長へ提出されるため、組織マネジメントに活用願う。
- 人事異動に活用する人事異動対象者名簿を作成願う。名簿を作成する際は、自己申告書を基に対象者と面談を実施し、職員の意向を踏まえること。特に面談を必要とする職員は、職員配置3年以上の職員及び異動希望のある職員又は面談が必要な職員、新規採用職員としている。3年未満で異動対象とする職員または3年以上で異動対象とさせない職員にあっては、詳細な理由を付し、その理由を本人へ面談等で伝えること。対象者名簿については、庁議終了後に所属長へ通知する。

【提出期限】11月21日（木）

- 人事異動のスケジュールについては、提出された意向調査を基に、職員面談を実施し、

異動対象者名簿を人事部門において精査を行う。また、8月に行ったヒアリング結果を基に組織図の素案を作成し、人事異動を行う。人事異動にあっては、各所属において事情があると思うが、「恵庭市人事異動ガイドライン」を参考にいただき、職員のキャリア形成に支障が出ないよう配慮願いたい。

(3) 年次有給休暇等の取得促進について【総務部】

◎資料に基づき、総務部長説明

- 令和6年1月から9月の年次有給休暇および夏季休暇の取得状況について、令和5年1月から9月の年次有給休暇が1人平均取得日数10.54日に対して、令和6年は10.82日と、前年比0.28日の増となった。
- 年次有給休暇の取得については、労働基準法において年次有給休暇の付与日数が10日以上の上労働者に対して、5日以上を取得させることが義務となっており法が適用される職場もある。また、市の特定事業主行動計画では、年次有給休暇の取得日数の数値目標で12日以上と掲げている。
- 現在、有給休暇取得日数が6日以下の職員については、各部長職へリストを渡すため、各所属において特定の職員に業務の偏りが無いかを確認し、計画的に年次有給休暇の取得できるよう業務調整を願う。

(4) 恵庭市人事制度基本方針(案)及び恵庭市人材育成基本方針(案)の職員意見募集について【総務部】

◎資料に基づき、総務部職員課主幹説明

- 昨年12月に国の新たな指針「人材育成・確保基本方針策定指針」が示され、従前の策定指針の人材育成に加え、人材確保や職場環境、デジタル人材の育成・確保に関する事項が新たに記載された。恵庭市人事制度基本方針及び恵庭市人材育成基本方針の2つの方針を国の新たな指針を踏まえた見直しを行い、職員から意見募集を行うものである。
 - 主な改正内容は、下記のとおり。
 - ・人材確保や職場環境及び外部人材の活用などのデジタル人材の育成・確保について追記
 - ・現行実施している要領や運用内容等へ修正
 - ・恵庭市第4次定員管理計画に沿った修正
 - ・定年年齢引き上げなどの制度改正に合わせた修正
 - 今後のスケジュールについては、資料のとおりで4月の運用開始に向け、取り進めていく。庁議終了後に職員ポータルに掲載するため、ご意見いただきたい。
- 【提出期限】11月8日（金）**

(5) 令和6年度恵庭市災害対策本部訓練の細部実施要領について【総務部】

◎資料に基づき、基地・防災課危機管理参与説明

- 複合災害の対処能力向上と個別避難計画の運用及び情報共有要領について検証するため、災害対策本部訓練を実施する。
- 訓練形式は例年のロールプレイング方式とは異なり、図上訓練とし本部で状況が変化していく中で、処置対策を素早く決めて、実行にどうやって移していくか検証しながら訓練を行う。
- 今後の予定は資料のとおりで、訓練終了の成果報告を11月29日までに報告願う。
- 【実施日時】 11月5日（火）午前8時50分～午前11時30分

(6) 令和7年度予算編成方針について【総務部】

◎資料に基づき、財務室財政課長説明

- 令和7年度国の地方財政政策について、総務省の予算概算要求を示した「令和7年度地方財政の課題」では、地方の一般財源の総額は、令和6年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保すると示している。地方財政収支の仮試算は、歳入では地方税の増収を見込んでいるが、歳出ではDXのランニングコストの増加、物価高騰や人件費上昇への対応、資材値上がり等による建設費や施設維持管理費の事業コストの経費が増加する見込みから、経常収支は厳しくなると想定している。
- 予算編成にあたっては、本市の未来をイメージしながら、限りある財源を有効活用していき、柔軟な発想と創意工夫をもって留意事項を踏まえた予算要求を行っていただきたい。
- 予算編成に関する総括的事項と具体的事項については、下記のとおりである。
 - ①次年度予算編成では、歳出枠配分方式を継続し、価格高騰が想定される一部経費については、増額配分を行う。また、光熱水費は変動が大きいので、配分外とし別途査定とする。
 - ②配分経費は、臨時枠を廃止し経常配分枠の適正化を図るため、一件査定とする。
 - ③配分予算は、超過することの無いように要求し、業務の移管などにより他の部との配分額を調整する場合には、財政課に申し出ること。
 - ④政策予算の内示額は、要求上限額となっているため、Aランクであっても超過することが無いように注意すること。また、Bランクは、予算査定で実施の可否について判断を行うものであることに注意すること。
 - ⑤基金の活用方針について、ふるさと納税の寄付額は減少傾向のため、要求にあたっては効果的な事業への充当となるよう留意すること。
- 予算編成説明会を10月22日（火）に実施する。予算要求書の締切は11月8日（金）のため、期日までの提出を願う。

(市長)

今までの議会議論で前向きに答弁したものはそれなりのランクを付けている。議論が進んでいないものは復活要求してほしい。

(副市長)

マイナスシーリングを設けないということだが、政策内示でも枠配分としている事業も多いため、枠配分内で収まるように内部でしっかり調整してほしい。

(7) カーボン・マネジメントシステムに係る令和6年度上期分の取り纏めについて

【総務部】

◎資料に基づき、総務部長説明

- カーボン・マネジメントシステムにおいて、令和6年度の目標を設定し、電気やガス、ガソリンなどのエネルギー使用量を減らすべく各課で取り組んでいただいている。令和6年度上期のエネルギー使用実績の集約を行うので、期日までに報告をお願いしたい。

【報告期日】 11月1日（金）

(8) 恵庭市都市計画マスタープラン原案（事務局案）について【企画振興部】

◎資料に基づき、まちづくり拠点整備室長説明

- 令和3年に策定した都市計画マスタープランに、新市街地基本的な考え方を盛り込み、新たなプランの原案とした。
- サウンディング調査にて、需要の高まりや開発意向が示された国道36号沿線を新たな開発インパクト軸と位置付け、特に、インパクト軸上の西島松地区、上山口地区、戸磯地区は新たな市街地検討区域に位置付け、新市街地の可能性を検討する。
- 原案については、庁内で個別協議や道庁や開発局等の協議を進めており、11月14日の都市計画審議会に向けて、資料の精査を行っていく。審議会終了後、原案を職員ポータルに掲載する予定である。本原案については、現在事務局案のため今後修正等が生じることと、取り扱いには留意願う。

(9) 骨髄等移植に関する普及啓発セミナーについて【保健福祉部】

◎資料に基づき、保健福祉部長説明

- 骨髄等移植の普及啓発の一環としてセミナーを下記の日程により夢創館で開催する。本セミナーでは、映画の上映と骨髄移植経験者で主演俳優の講演を予定している。映画は、白血病の青年と骨髄提供を依頼された女性を取り巻く内容であり、骨髄ドナーの提供は20歳から55歳未満である。日曜日の開催となるが、特に若い職員に周知していただき、ドナー登録の検討についても関心を持っていただきたい。

【開催日時】 11月17日（日） 14時～17時